

事業名 CD	0104010213	健康診査事業（女性特有のがん検診推進事業）		
細分化した事業名				
事業担当課室 CD	200400	保健課	整理コート*	

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	誰もが安心して暮らせるまちづくり		
	中項目	健康な暮らしを守る保健・医療の充実		
	小項目	健康づくりの推進		
関連する個別計画等		根拠条例等	健康増進法、がん検診実施指針	
関連する事業	がん検診事業			

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	女性特有のがんは、受診率が低いため受診促進を図り未来への投資に繋がる子育て支援の一環として実施
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	子宮がん：20歳・25歳・30歳・35歳・40歳の女性市民 乳がん：40歳・45歳・50歳・55歳・60歳の女性市民
これまでの改善経過	平成21年度から新規事業のため該当なし
事業の手段 (どんなやり方/手法)で)	〈実施・運営方法〉 ■市 ■委託 □補助金 ■その他(助成金) ・対象者個人に無料クーポン券の送付 ・対象者は検診機関に無料クーポン券提出により受診が可能 ・検診機関は月締めにより検診費用を市に請求 → 支払い
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	早期発見、早期治療によるがん患者の抑制

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19年度	20年度	21年度	
A	事業費 (千円)			4,282	
財源内訳	国庫支出金			4,071	
	県支出金				
	市債				
	その他				
	一般財源			211	
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)			0.41	
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	0	0	2,797	
D	総事業費(A+C) (千円)	0	0	7,079	
*参考		H21)市民1人当りの事業コスト	221 円	H21)市民1人当りの行政サービス費用	579,596 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19年度(6,901千円)、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)を使用しています。
 注3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実 績 値		
			19 年度	20 年度	21 年度
活動指標	子宮がん検診受診者	受診者数 (人)			180
	乳がん検診受診者数	受診者数 (人)			372
成果指標	子宮がん検診受診率	受診者数 180 人 / 対象者数 910 人			19.78
	乳がん検診受診率	受診者数 372 人 / 対象者数 1,102 人			33.76
効率指標	受診者 1 人あたりのコスト	総事業費 / 受診者数 (円) (7,079 千円 / 552 人)			12,824

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 対象者個人宛に検診通知、無料クーポン、検診手帳を郵送
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない 総体的に受診率 40% を目標としたが達成できなかった。
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input checked="" type="checkbox"/> C 効率的でない 実施初年度として対象者への対応は妥当と思われたが、受診率の低さから再検討が必要。

総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化 (コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善 (実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化 (結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化 (事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合 (他の事業と統合する、または廃止する) <input type="checkbox"/> 現行どおり

改善・改革案	改善・改革の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 未受診者に対し、直接勧奨 (電話又は訪問による勧奨を未受診者の多い地域から実施など) を検討	(2) 23 年度 未受診者への周知 (はがき送付など)	(3) 22 年度 現行どおり
	21 年度の改善計画		
21 年度の改善結果			

市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)

課長所見	乳・子宮がん検診全体で見るとこの事業によりそれぞれ 3%・1.3%押し上げた結果となったが、周知活動はもちろん実施するが、目標としてせめて子宮がんを県平均の 23.5%以上に上げる対策を
------	---